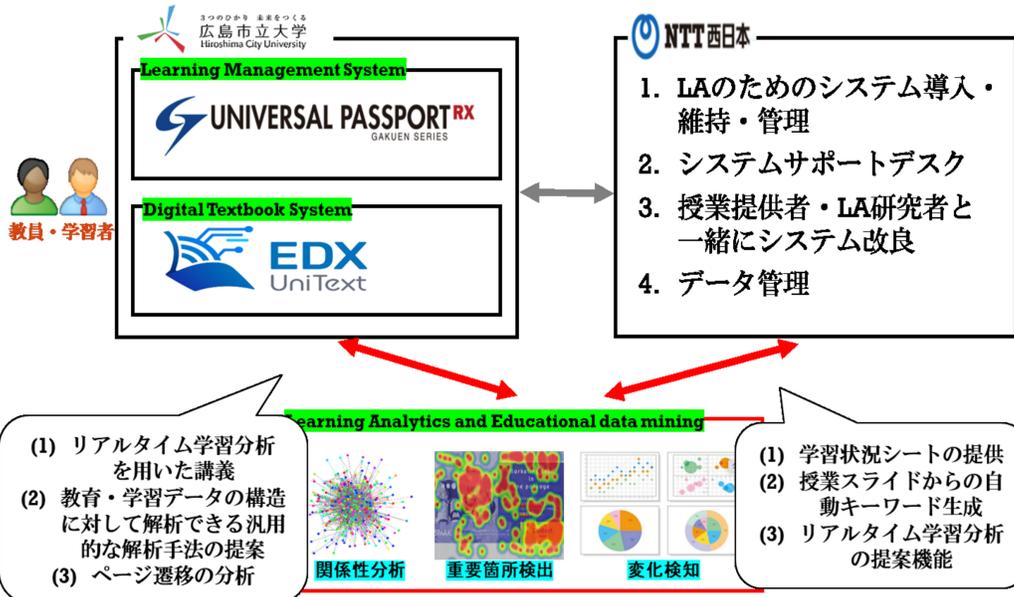


ラーニングアナリティクスに基づく教育・学習改善に向けて

毛利 考佑 (広島市立大学 情報科学研究科)

本学のラーニングアナリティクス環境



教育DXの目標

大学のデジタル化の基本方針に基づき、その目標を達成するために、ラーニングアナリティクスを導入

➢ **目標1:教育DXプラットフォームを中心とする教育スタイルへの変革**

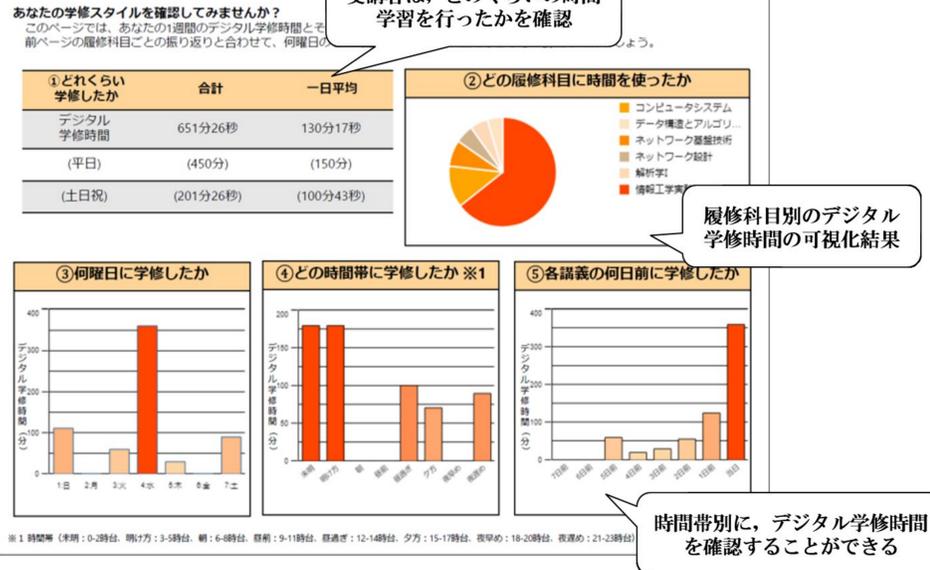
- (1) 学修効果の向上と学修の効率化を目指すLMSを利用した教育方法の採用
- (2) 現行LMSや教務システムの機能不足および不安定性改善

➢ **目標2 学修者本位の学修スタイルへの変革**

- (1) 学修成果やDPの到達度の可視化などにより、学修者が自ら自分の学びの履歴を知り、今後の進路(履修計画、専門性、学科配属、研究室・ゼミ選択、就職など)を考える「学修者本位の学び」を提供する環境を構築
- (2) 学習者本位の学びに有用となる、教育と学習を改善するためのデータ収集・分析を行う(教学IR)。

本学のラーニングアナリティクスの取り組み

1. 学修スタイルを振り返る



2. 履修科目ごとの学修を振り返る

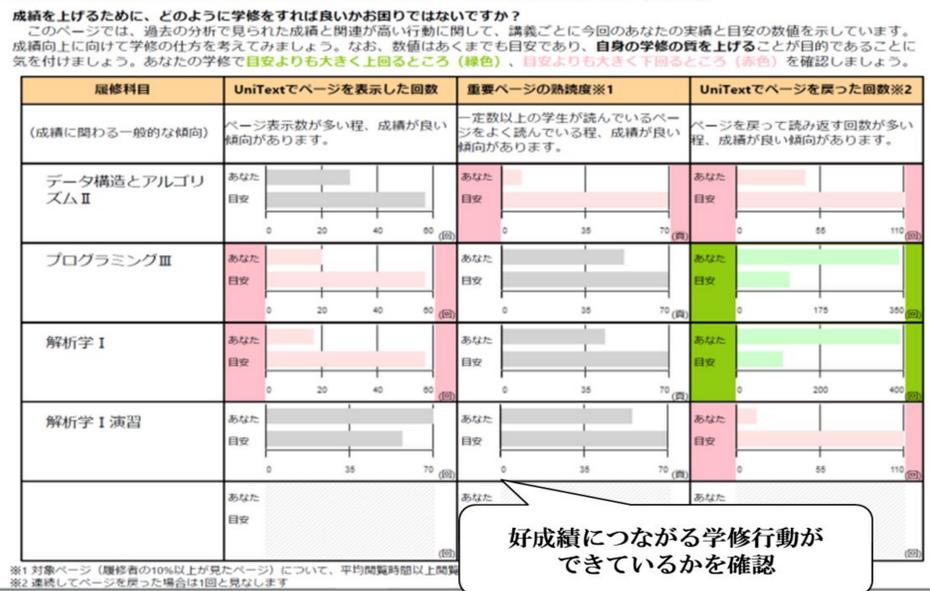
UniTextの閲覧時間、UNIPA小テストの結果を履修科目ごとに振り返りましょう。
このページでは、あなたの講義中・講義外のUniText閲覧状況、UNIPA小テスト受験状況を履修科目ごとにまとめています。
あなたの学修で平均よりも上回ったところ(緑色)、平均よりも下回ったところ(赤色) ※1を確認しましょう。

履修科目	講義外					講義中			
	UniText 閲覧 ※2		UNIPA 小テスト受験		最もデジタル学修した曜日 時間帯 ※4	UniText 閲覧 ※2	UNIPA 小テスト受験	あなたの平均点	
	閲覧 ページ数	閲覧 時間	受験 回数	あなたの平均点		他学生との閲覧一致率 ※5	受験 回数		
コンピュータシステム	17	80分20秒	2日	1	90点	土曜昼過ぎ	60%	1	90点
データ構造とアルゴリズムⅡ	5	30分	1日	2	80点	木曜夜遅め	20%	5	50点
ネットワーク基礎技術	14	50分16秒	2日	1	91点	土曜昼前	56%	1	75点
ネットワーク設計	13	35分40秒	1日	1	100点	日曜夕方	83%	1	97点
解析学Ⅰ	10	35分10秒	1日	-	-	日曜昼過ぎ	56%	-	-
情報工学実験Ⅰ	17	420分	2日	5	96点	水曜未明	63%	1	90点

授業外と授業中の教材閲覧時間と小テストの結果の表示等

※1 UniTextやUNIPAを利用しなかった科目は、「-」(灰色)となります
※2 読み飛ばした(開きっぱなしにした)ページは対象にしていません
※3 UniTextを見ていない間に24時間を回る場合は2日と見なしています
※4 夜間:0-2時、明け方:3-5時、朝:6-8時、昼前:9-11時、昼過ぎ:12-14時、夕方:15-17時、夜早め:18-20時、夜遅め:21-23時
※5 5分毎に最も閲覧されていたページをあなたが見ていた割合を表示しています

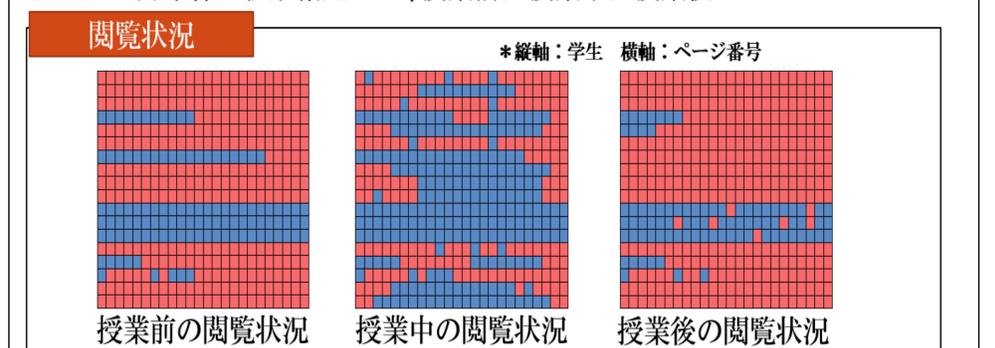
3.1. 好成績につながる講義外学修ができているか確認する(行動)



講義名: データ構造とアルゴリズムⅡ

資料名: 第1回講義資料

データ入力条件: 秒数指定 t>30, 授業前, 授業中, 授業後



フィードバック

授業前の閲覧状況が芳しい学生(50%以下): XX01234, XX01235
授業中の閲覧状況が芳しい学生(50%以下): XX01235
授業後の閲覧状況が芳しい学生(50%以下): XX01234, XX01235

分析の結果



分析結果の解釈(分析者)

- (1) 全体的に閲覧している学習者は、小テストの成績が良い
- (2) 最初の方しか閲覧していない学習者が多く、その学習者が成績が悪い
- (3) 特定のページ(pp.10~15)を閲覧している学習者は、小テストが良い
- (4) XX01235の学生は、教材の閲覧が芳しくなく、小テストの成績もよくないので、注意が必要(TAがいる場合、講義中に少しサポートするのも有)

